

8月パイプライン供用開始＝二期着工攻撃うちくだけ



動労千葉

83. 5. 10

No. 1334

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

5・22 全力で三里塚へ

動労千葉・反対同盟および闘う全国の仲間が、中江―北原選挙闘争を全力で闘っているその真最中の四月十五日、政府・空港公団は、「ジェット燃料パイプライン輸送を本年八月八日から開始する」と発表した。いよいよ敵は本格的な二期着工の宣言を行ってきたのだ。われわれは、反対同盟とりわけ敷地内農民の怒りをわがものとし、重大な決意をこめてこの攻撃をうちくदैいかねなければならぬ。

「パイプライン輸送」とは何か。それは、公団が実に十二年の歳月と総額一〇六三億円の巨費を投じて強行してきた「二期」への根幹をなすものである。千葉港から空港までの全長約四七キロを直径三五センチの高圧パイプ二本を使って毎秒一・五メートルの速さで燃料を送り込む。これは、現行の貨車輸送量の四倍に相当する年間八〇〇万キロリットルの送油を可能とし、二期開港後の大中増便（一日八〇〇便）というとてもない飛行ラッシュ（ノ）を完全に想定し、さらに全く自由に使用できる緊急・有事の軍用機用燃料をも確保するという計画にそったものである。

こうした攻撃は、ただちに、この六月にもジェット燃料貨車輸送の一部運休に始まり、八月には「特別ダイヤ改正」をもって貨車輸送の全面運休、そして政府・国鉄当局のわが動労千葉に対する全面攻撃策動の強まりとなって表われている。五・二二は全ゆる意味で重要な闘いである。反対同盟は断固としてこの攻撃をうけてたち、勝利する決意にもえて全国に総決起を訴えた。中江―北原選挙圧勝の底力を今こそ出しきって、勝利をもぎとろう。三里塚とわが動労千葉の闘う未来をきりひらく五・二二を全力でかちとろう。

招請状

三里塚芝山連合空港反対同盟

国家権力の不当な土地収用法を許さず、弾圧にも屈せず、金にも負けず、一坪の土地も売らず闘い続けて十八年。三里塚芝山連合空港反対同盟は、二期工区敷地内の農民を中心に結束し、「空港絶対反対」の道を闘いぬいております。私どもは、勝利への誓いも新たに、5・22全国総決起集会への皆さまの大結集を訴えます。

政府・空港公団は、航空機燃料輸送のためのパイプラインの供用開始を、今夏八月八日と決定し、二期着工をうちだしました。このパイプラインの完成を契機に、反対同盟破壊のための二期攻撃をつよめています。

私たち反対同盟は、これを断固としてむかえうち粉碎する決意です。空港との「共存共栄」構想にもとづく成田用水、公団用地貸しつけなどの懐柔攻撃との闘いは二期攻防の最大の焦点であります。

反対同盟は十八年間に、「空港絶対反対」の基本路線をつらぬき、買収や懐柔策を拒否してきました。二期工事着工は、同盟組織の破壊なくしてありえない。私たちの基本路線を破壊し、空港との「共存共栄」にひきこみ、「話し合い」による任意買収によってしか二期着工は不可能であります。私たちは、「空港絶対反対・一切の話し合い拒

否」「農地死守・実力闘争」を基本に、二期阻止・空港廃港の勝利をかならずや闘いとる所存であります。

中曽根内閣は、三里塚闘争を破壊し、反対闘争を頂点からたたきつぶすことで軍事大国化と憲法改悪をおしとおそうとしています。反対同盟は反戦平和の砦をになり責務にかけて、政府・公団の組織破壊攻撃と対決し、全国の人民とともに国家権力の大反動をうち破るべく闘いぬきます。

昨年、私たちは一部幹部の条件交渉を粉碎し、成田用水による同盟分断攻撃をうち破って勝利しました。さらに「農地死守」の基本をなげだし、成田用水推進派と一体化して空港との「共存共栄」の道に転落した「一坪再共有化運動」を粉碎してきました。

この勝利のうえに、成田市議選の歴史的な大勝利を実現したのであります。選挙戦の勝利は、代償をもとめず闘う私たちに寄せられた、近隣住民と全国の支援勢力の共感・支持によるものと確信いたします。

5・22全国総決起集会は、パイプラインの完成を契機につよまる二期着工攻撃、そして条件策動などの反対同盟破壊攻撃を粉碎する決戦であります。全国の皆さまが反対同盟と心をひとつにし、八三年の二期着工を阻止して中曽根内閣の反動をうち破るべく、総結集されることを心から訴えます。

一九八三年四月二十五日